

第42回 山桃忌



【日光寺より瀬戸内海を眺める】

主催 福崎町 後援 兵庫県、日本民俗学会、日本民話の会、女性民俗学研究会（順不同）

テーマ 柳田國男と「海上の道」

■WEB 配信期間：令和3年8月15日（日）～令和4年3月31日（木）

***** 山桃忌式典 *****

1. 献花
2. 町長あいさつ

***** 講演 *****

1. 基調講演 「海上の道」再考
柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己
2. 記念講演 「柳田國男が活性化させた八重山の芸能」
沖縄国際大学名誉教授 狩俣恵一

（ 休 憩 ） ※柳田國男生誕の地・福崎 紹介動画「辻川界限を訪ねて」上映

***** シンポジウム *****

シンポジウム「柳田國男と「海上の道」」

コーディネーター	石井正己	
パネリスト	鹿児島大学名誉教授（日本島嶼学会参与）	長嶋俊介
	東京学芸大学教授	橋村 修
	俳人・僧侶	松岡秀隆

■基調講演 「海上の道」再考

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 いしいまさみ 石井正己



1958年東京生まれ。東京学芸大学教授、一橋大学大学院連携教授。日本文学・口承文芸学専攻。2012年から柳田國男・松岡家記念館顧問。

主な著書に『図説 遠野物語の世界』『いま、柳田國男を読む』『感染症文学論序説』（河出書房新社）、『遠野物語の誕生』（筑摩書房）、『「遠野物語」を読み解く』（平凡社）、『文豪たちの関東大震災体験記』（小学館）、『テキストとしての柳田國男』（三弥井書店）、『菅江真澄と内田武志』（勉誠出版）など多数。

■記念講演 「柳田國男が活性化させた八重山の芸能」

沖縄国際大学名誉教授 かりまたけいいち 狩俣恵一



1951年沖縄県竹富島生まれ。沖縄国際大学名誉教授、奄美沖縄民間文芸学会常任委員。専攻は、琉球文学・琉球芸能。竹富島の種子取祭芸能に子役や組踊で出演した経験がある、ユークイ（せぐい）の伝承者。

編著書に、『竹富島小浜島の昔話』（同朋舎出版）、『芸能の原風景』（瑞木書房）、『南島歌謡の研究』（瑞木書房）、『種子取祭』（瑞木書房）、『琉球の伝承文化を歩く―西表・黒島・波照間の昔話』（三弥井書店）、『組踊の精神性と唱えの研究』（科研報告書）など。

■シンポジウム「柳田國男と「海上の道」」コーディネーター：石井正己

鹿児島大学名誉教授（日本島嶼学会参与） ながしましゅんすけ 長嶋俊介 「柳田が島学・島に残したもの」

1949年柳田逸話が多い佐渡島出身。鹿児島大学名誉教授、元日本島嶼学会会長、瀬戸内オリーブ基金理事長、奈良女子大大学院専任教授（兵庫教育大学大学院非常勤講師）、会計検査院調査官。愛のココナツ流し乗船の経験もある。

主な著書に「旅先の島とシマ」「公共民の経営学・現場学」「島のしくみと島らしさ」等連載中『新刊日本の島事典』編集者。主な著書編著に『日本ネシア論』『豊さの生活学』『九州広域列島論』『世界の島大研究』『島：国内編』など多数。



東京学芸大学教授 ほしむら おさむ 橋村 修 「「海上の道」と魚利用の文化」

1972年鹿児島生まれ。東京学芸大学教授。歴史地理学・民俗学専攻。日本列島（特に九州と南西諸島）の中世以降の漁業史・漁場利用史、人と魚（特に回遊魚シイラ）との関わりとの歴史と比較民俗（アジア、オセアニア、中米、地中海）、東南アジア（特にラオス）の河川漁撈、駄菓子文化などを研究調査してきた。

主な著書に『漁場利用の社会史』（人文書院）、共著に『日本の食文化4魚と肉』（吉川弘文館）『疫病と海』（西日本出版社）など。



俳人・僧侶 まつおかひでたか 松岡秀隆 「「文化不毛の地・播磨説」と柳田國男、そして今」

1949年兵庫県福崎町辻川生まれ。屋号「札場」。柳田國男の著書『故郷七十年』にある和吉の弟の孫。浄土真宗本願寺派順教寺衆徒。

句集に『磐石』（東京四季出版）、『光』（花神社）ほか。著書に『竹久夢二の俳句』（天満書房）、『蓮如上人の門弟の人々』（永田文昌堂）、『松岡源之助傳』（友月書房）、『ハンセン病と歌人たち』（同）、『矢内原忠雄とハンセン病』（同）、『小津安二郎の俳句』（河出書房新社）ほかがある。

